



始めませんか! 6つの課題に向けた取り組み



県全体の面積の約60%を占める森林、豊富な地下水など豊かな自然に恵まれた熊本県。県では、こうした自然を守り育てるために、下記のような本県特有の6つの課題に向けた取り組みなどを皆さんと一緒に進めています。あなたも、できるところから始めましょう。

川や海を大切にしましょう

課題1 / 有明海・八代海の再生



みんなの川と海づくりデー活動

※潮通しを良くするため、干潟に水路を掘ること。

豊かな海への再生に向けて、下水道や浄化槽などの生活排水処理施設の整備や森林機能の向上、作(さく)れい*や藻場(もば)の造成による漁場環境の改善、水質や生態などの調査研究を進めるとともに、川や海を守る県民運動を広めています。

皆さんが取り組めること

- 油で汚れた皿は、洗う前に紙でふき取る
- 川や海の清掃活動に参加する など

おいしい水を大切にしましょう

課題2 / 熊本地域の地下水保全



水源かん養田での米作り体験

※熊本地域とは、熊本市を含む近隣の14市町村です。

生活用水のほぼ100%を地下水で賄う熊本地域*では、地下水のかん養源となっている森林や農地の保全、節水の取り組み、雨水や再生水の利用を働き掛けています。また、環境に優しいグリーン農業や、家畜排せつ物対策などを進めています。

皆さんが取り組めること

- 洗面や歯磨きのときは水を流しっぱなしにしない
- かん養田・林を守り育てる活動に参加する など

ごみを出さない暮らしをしましょう

課題3 / 3R(スリーアール)と廃棄物適正処理の推進



消費者によるノーレジ袋運動

マイバッグ利用など、誰もが身近にできるごみの排出抑制(リデュース)、再利用(リユース)、再生利用(リサイクル)を進めています。また、「熊本県産業廃棄物税」を活用し、不法投棄対策、廃棄物適正処理などに取り組んでいます。

皆さんが取り組めること

- シャンプーや洗剤などは詰め替え用を使う
- 必要な物を、必要な量だけ買う など

バイオマスって知ってますか

課題4 / バイオマス利活用の推進



廃食用油を燃料にしているごみ清掃車

農林水産業が盛んな本県の特徴を生かして循環型社会の構築を進めていくために、産・学・行政連携による技術開発の促進や、バイオマスの利活用に係る事業化への支援を行うほか、バイオマス製品の利用を呼び掛けています。

皆さんが取り組めること

- 生ごみ、古紙などの分別を徹底する
- 生ごみはできるだけ堆肥(たいひ)化する など

大切な森林を守りましょう

課題5 / 水とみどりの森づくり



初心者向け森林ボランティア体験

水を蓄え地下水を生み出し、地球温暖化の原因の一つである二酸化炭素を吸収する森林の働きを保全するため、「熊本県水とみどりの森づくり税」を活用し、手入れがされていない森の間伐や植林、森林ボランティアや森林環境教育活動への支援を行うなど、県民参加の森林づくりをさらに進めています。

皆さんが取り組めること

- 森林の働きや木材に関心を持つ
- 森林の環境保全活動に参加する など

身近な環境を大切にしましょう

課題6 / 子どもの頃からの環境教育の推進



ごみ分別収集体験

家庭、地域、学校、企業、行政などが互いに連携を取りながら環境教育を進めています。特に、学校版環境ISOや水俣の姿を体験活動で学ぶ「子どもエコセミナー」などを行い、環境を守り育てる意識と行動力を持った人を育成しています。

皆さんが取り組めること

- ごみ分別など、学習した事を家庭で実践する
- 友達と環境について話し合う など

「熊本県産業廃棄物税」

- 課税標準 / 県内の最終処分場へ搬入される産業廃棄物重量
- 税率 / 最終処分場への搬入量1トン当たり1,000円
- 税収用途 / 産業廃棄物の排出抑制および再利用・再生利用の推進・産業廃棄物の適正処理の促進 など

「熊本県水とみどりの森づくり税」

- 税率 / 個人 500円(年額)
- 法人 法人県民税均等割(標準税率)の5%相当額(年額)
- 税収用途 / 森林の公益的機能の発揮に向けた取り組み「森林を県民全体で守り育てる」ための取り組み

「バイオマス」とは?

バイオマスとは、動物や植物から発生するもので、再生利用できる有機性資源です。家畜排せつ物、生ごみ、古紙などが代表的なものです。
(例)家畜排せつ物を微生物によって分解し、堆肥として利用することができます。